

東北学院大学宗教音楽研究所紀要バックナンバー目次

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 東北学院大学宗教音楽研究所 公開日: 2025-04-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000589

東北学院大学宗教音楽研究所
紀要 バックナンバー目次

○創刊号 (1997年3月発行)

発刊によせて

音楽(芸術)と大学・・・・・・・・・・・・・・・・東北学院大学学長 倉松 功 (1)

発刊のことば

キリスト教主義大学における宗教音楽研究所の使命と課題・・ 宗教音楽研究所所長 土戸 清 (2)

研究論文

新約聖書における「礼拝」と「賛美」(1) -ヨハネ福音書研究から- ・・・・・・・・土戸 清 (3)

ギデオンの戦い(士師記7章)における角笛・・・・・・・・・・・・・・・・佐々木 哲夫 (5)

宗教改革と音楽(1) -初期ルターの讃美歌-・・・・・・・・・・・・・・・・野村 信 (7)

ノート

東北学院大学の2台のパイプオルガン・・・・・・・・・・・・・・・・伊澤 長俊 (11)

資料

1996年度の宗教音楽研究所活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・ (13)

東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・・・・・・・・・・・・・・ (16)

○第2号 (1998年3月発行)

研究論文

新約聖書における「礼拝」と「賛美」(2) -ヨハネ福音書研究から- ・・・・・・・・土戸 清 (1)

ギデオンの戦いの背景(士師記6章1-6節) ・・・・・・・・・・・・・・・・佐々木 哲夫 (7)

ノート

音楽史を導いたもの・・・・・・・・・・・・・・・・三井 保子 (9)

「シューブラー・コラル」について ・・・・・・・・・・・・・・・・伊澤 長俊 (11)

報告

1997年度宗教音楽研究所の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ (13)

資料

東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・・・・・・・・・・・・・・ (16)

○第3号 (1999年3月発行)

研究論文

新約聖書における「礼拝」と「賛美」(完) -ヨハネ福音書研究から- ・・・・・・・・土戸 清 (1)

サムソンの物語における戦い・・・・・・・・・・・・・・・・佐々木 哲夫 (7)

講演

共同体としての礼拝における音楽の役割・・・・・・・・・・・・・・ディビッド・N・マーチー (14)

ノート

19世紀以降のシンフォニック・オルガン ・・・・・・・・・・・・・・・・伊澤 長俊 (25)

報告

1998年度の宗教音楽研究所の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ (31)

資料

東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・・・・・・・・・・・・・・ (34)

○第4号 (2000年3月発行)

研究論文

ミクナム詩編の特徴と起源(1)・・・・・・・・・・・・・・・・佐々木 哲夫 (1)

パイプオルガン用に建築された泉キャンパス礼拝堂における音声の明瞭性の改善

-最新の音方向制御拡声システムの適用-・・・・・・・・・・・・・・・・中 鉢 憲 賢 (9)

講演

J. S. バッハ『マタイ受難曲』における「罪を嘆く人間」・・・雨 貝 行 磨 (19)

ノート

J. S. バッハのオルガン小曲集について・・・伊 澤 長 俊 (29)

報告

1999年度の宗教音楽研究所の活動・・・(36)

資料

東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・(39)

○第5号(2001年3月発行)

研究論文

ミクナム詩編の特徴と起源(3)・・・佐々木 哲 夫 (1)

トバル・カインかウルカーヌスカードツ・ドッシ作《音楽のアレゴリー》にみる

ルネサンス絵画と音楽の一断面・・・松 井 美智子 (9)

講演

旧約聖書と信仰ーギルガメッシュ叙事詩とノアの箱舟ー・・・佐々木 哲 夫 (26)

レポート

第39回国際オルガン・アカデミーに参加して・・・伊 澤 長 俊 (28)

報告

2000年度の宗教音楽研究所の活動・・・(38)

資料

東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・(41)

○第6号(2002年3月発行)

論文

讃美歌の歴史:「さかえにみちたる」・・・ディビッド・N・マーチー (1)

エッセイ

ー科学と宗教と芸術とーパイプオルガンとの出会い・・・佐 治 晴 夫 (8)

教会・讃美歌・伝道 1988年 ドイツ・・・雨 貝 行 磨 (17)

報告

讃美歌21の楽曲分析(奏楽の視点)・・・伊 澤 長 俊 (33)

2001年度の宗教音楽研究所の活動・・・(38)

資料

東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・(40)

○第7号(2003年3月発行)

講演

アメリカの教会における音楽担当牧師の役割・・・ディビッド・N・マーチー (1)

論文

音楽による癒しのメカニズムーその脳・神経生理学的考察ー・・・高 橋 彌 穂 (6)

『勇敢なる水兵』奥好義と東北学院校歌・・・熊 木 晟 二 (15)

レポート

東北学院大学多賀城キャンパス礼拝堂のパイプオルガンについて・・・伊 澤 長 俊 (28)

エッセイ

経験としての新グローブ座・・・下 館 和 巳 (33)

報告

2002年度宗教音楽研究所の活動・・・(42)

資料

東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・(44)

○第8号(2004年3月発行)

論 文

- 「主」の名は「永遠」—最初の完全仏訳聖書(オリヴェタン訳1535年)の特色—・・・野村 信(1)
透明なコンピュータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・岩本 正敏(12)

エッセイ

- 音楽と法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・阿部 純二(19)
讃美歌312と121のこと(「讃美歌21」では493と280)・・・・・・・・雨貝 行麿(25)

報 告

- 2003年度宗教音楽研究所の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(41)

資 料

- 東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(44)

○第9号(2005年3月発行)

論 文

- アメリカのGospel SingerであったKeith Greenの生涯におけるキリスト教の信仰と音楽と社会的な関心
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ディビッド・N・マーチー(1)

エッセイ

- 教育的プログラムとしての礼拝における音楽・讃美歌の指導に関する提案・・・・・・・・雨貝 行麿(11)

講 演

- オルガンの構造と演奏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・今井 奈緒子(22)

報 告

- 2004年度の宗教音楽研究所の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(25)

資 料

- 東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(28)

○第10号(2006年3月発行)

論 文

- カルヴァンと詩篇歌(1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・野村 信(1)

書 評

- J. S. バッハの人生と音楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ディビッド・N・マーチー(9)

講 演

- デジタルとアナログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・岡崎 光治(13)

報 告

- 2005年度の宗教音楽研究所の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(22)

資 料

- 東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(25)

○第11号(2007年3月発行)

論 文

- 福音主義とヴィクトリア時代イギリスの思潮—讃美歌黄金時代の背景—・・・植松 靖夫(1)
旧約聖書の楽器ネベル—琴か堅琴か—・・・・・・・・・・・・・・・・佐々木 哲夫(5)

報 告

- 泉キャンパス礼拝堂オルガンのオーバーホールについて・・・・・・・・今井 奈緒子(12)
2006年度の宗教音楽研究所の活動・・・・・・・・・・・・・・・・(20)

資 料

- 東北学院大学宗教音楽研究所規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(22)

○第12号(2008年3月発行)

論 文

- Laon239及びEinsiedeln121に基づく

降誕祭グレゴリオ聖歌ミサ入祭唱ネウマ譜に関する一考察	石田 啓	(1)
「讚美歌」および「賛美歌21」－日本語の観点から	永井 義之	(28)
作 品		
「The Dwelling of Light」	スティーブン・G・モーガン	(36)
報 告		
2007年度の宗教音楽研究所の活動		(48)
資 料		
東北学院大学宗教音楽研究所規程		(51)
○第13号 (2009年3月発行)		
論 文		
グレゴリオ聖歌ネウマ譜に見られる指示文字とNotker書簡写本に関する試論 －Laon 239とSt. Gall 359及びEinsiedeln 121における降誕祭夜半ミサ昇階唱 及び拝領唱音符記号解読と共に－	石田 啓	(1)
旧約聖書の楽器トフ	佐々木 哲夫	(67)
書 評		
Music and Neurological Disorders: A Review of Oliver Sacks' Musicophilia	ディビッド・N・マーチー	(73)
報 告		
2008年度の宗教音楽研究所の活動		(81)
資 料		
東北学院大学宗教音楽研究所規程		(84)
○第14号 (2010年3月発行)		
論 文		
グレゴリオ聖歌Mets系写本に於ける 指示文字としてのNotae Tironianaeについての覚書	石田 啓	(1)
原テキストとテキスト 讚美歌のもつ感性の豊かさについて	野村 信	(17)
エッセイ		
【音】楽から音楽へ－わたしは何を求めるか－	原 征 明	(23)
報 告		
2009年度の宗教音楽研究所の活動		(29)
資 料		
東北学院大学宗教音楽研究所規程		(32)
○第15号 (2011年3月発行)		
論 文		
バルト フロイト バッハ 「聴くこと」をめぐる	山崎 冬太	(1)
エッセイ		
声・言葉・身体～【時代の音】シリーズを終えて～	波多野 睦美	(11)
報 告		
『時代の音』がめざすもの－2つのレクチャーコンサートシリーズを終えて－	今井 奈緒子	(13)
2010年度の宗教音楽研究所の活動		(17)
資 料		
東北学院大学宗教音楽研究所規程		(20)
○第16号 (2012年3月発行)		
報 告		
泉礼拝堂ケルン・オルガンの被災と修復	今井 奈緒子	(1)

2011年度 宗教音楽研究所の活動	(9)
資料	
東北学院大学宗教音楽研究所規程	(12)
○第17号 (2013年3月発行)	
論文	
Swarm Wall	菅原 研 (1)
書評	
Life as Legato: A Review Essay on Daniel Barenboim's Everything is Connected – The Power of Music	デイビッド・N・マーチー (13)
講演	
東日本大震災によるオルガン被害修復報告 及び東北学院大学泉礼拝堂ケルン・オルガンの被災と修復	今井 奈緒子 (25)
報告	
2012年度の宗教音楽研究所の活動	(32)
資料	
東北学院大学宗教音楽研究所規程	(36)
○第18号 (2014年3月発行)	
論文	
讃美の力 – 聖隷福祉事業団創始者・長谷川保の事例を通して –	大澤 史伸 (1)
論文	
ダニエル書3章7節の風琴?	佐々木 哲夫 (9)
書評	
マーチー・デイビッド:「レガートとしての人生」 ～ダニエル・バレンボイム著『万物連関－音楽の力』の書評～	野村 信 (17)
報告	
2013年度の宗教音楽研究所の活動	(24)
資料	
東北学院大学宗教音楽研究所規程	(28)
○第19号 (2015年3月発行)	
論文	
島崎藤村「海辺の曲」と東北学院	熊木 晟二 (1)
論文	
スコットランド宗教改革と詩編歌	原田 浩司 (13)
論文風エッセイ	
ギターでバッハを弾く喜び ～リュートのためのパルティータ・ハ短調 (BWV 997) の奥深さを探る～	松村 尚彦 (21)
講演	
A Report on the Great East Japan Earthquake ～Including a report on damage to the organ at Tohoku-Gakuin-University and its restoration～	今井 奈緒子 (29)
報告	
2014年度の宗教音楽研究所の活動	(34)
資料	
東北学院大学宗教音楽研究所規程	(37)

○第20号 (2016年3月発行)

報 告

2015年度の宗教音楽研究所の活動 (1)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (5)

○第21号 (2017年3月発行)

論 文

「もの」としての芸術、「もの」としての音楽 鐸 木 道 剛 (1)

論 文

声楽の発声で日本語を歌うことの問題点と解決の可能性

—母語による豊かな賛美にむけた—考察 中 川 郁太郎 (9)

報 告

2016年度の宗教音楽研究所の活動 (30)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (34)

○第22号 (2018年3月発行)

論 文

第一ペトロ書におけるバプテスマ典礼伝承に関する考察 吉 田 新 (1)

論 文

共産主義体制下における教会音楽

—旧ドイツ民主共和国の実例に基づく—考察 中 川 郁太郎 (9)

報 告

2017年度の宗教音楽研究所の活動 (19)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (23)

○第23号 (2019年3月発行)

論 文

歌語としての「みたま」(一) 木 村 純 二 (1)

論 文

カール・シュトラウベとトーマス教会聖歌隊による

バッハのカンタータ演奏について 中 川 郁太郎 (8)

論 文

『小学唱歌集』と讃美歌 熊 木 晟 二 (16)

報 告

2018年度の宗教音楽研究所の活動 (36)

○第24号 (2020年3月発行)

論 文

歌語としての「みたま」(二) 木 村 純 二 (1)

論 文

詩編におけるセラの現象 田 島 卓 (8)

報 告

2019年度の宗教音楽研究所の活動 (16)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (20)

○第25号 (2021年3月発行)

論 文

Tune Name MESSIAHの探索 熊 木 晟 二 (1)

論 文

歌語としての「みたま」(三) 木 村 純 二 (13)

活動報告

コロナ禍における宗教部聖歌隊の活動 中 川 郁太郎 (20)

報 告

2020年度の宗教音楽研究所の活動 (29)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (32)

○第26号 (2022年3月発行)

論 文 (連載)

歌語としての「みたま」(四) 木 村 純 二 (1)

論 文

よりよい声楽初期教育 ——呼吸法指導とその問題点—— 中 川 郁太郎 (8)

報 告

2021年度の宗教音楽研究所の活動 (17)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (21)

○第27号 (2023年3月発行)

論 文

スポレート大聖堂と典礼—図像における音楽表現と銘文— 渡 邊 有 美 (1)

論 文

「もの」としての音楽、再論 —プロスキネシスの対象としての音楽— 鐸 木 道 剛 (11)

論 文 (連載)

歌語としての「みたま」(五) 木 村 純 二 (20)

報 告

2022年度の宗教音楽研究所の活動 (28)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (32)

○第28号 (2023年3月発行)

論 文

歌語としての「みたま」(六)
. 木 村 純 二 (1)

報 告

オルガン移設報告 その1 今 井 奈緒子 (9)

報 告

オルガン移設報告 その2 藤 吉 正 吾 (18)

報 告

2023年度の宗教音楽研究所の活動 (22)

資 料

東北学院大学宗教音楽研究所規程 (27)